

**2012年3月期
通期連結決算説明会**

大陽日酸株式会社



2012/5/11

- 1. 2012年3月期 通期連結業績**
- 2. トピックス**
- 3. 2013年3月期 通期連結業績(予想)**



2012/5/11

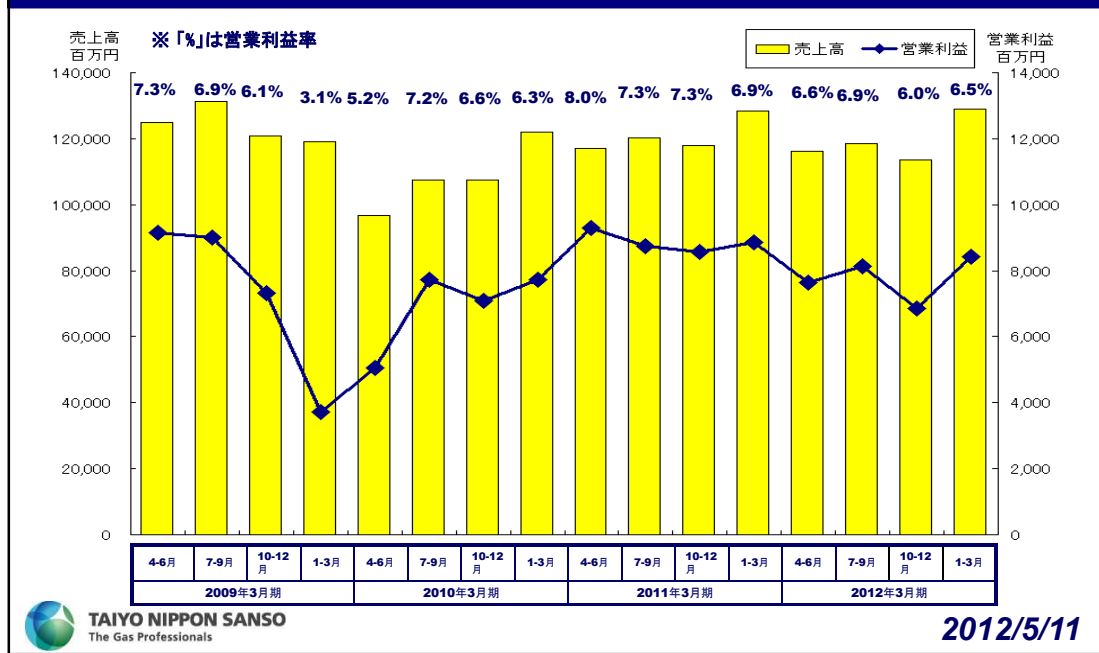
2012年3月期 通期連結業績

2012年3月期 通期連結業績

単位: 億円

	11年3月期 利益率	12年3月期 期初公表値	12年3月期 修正公表値	12年3月期 (実績)	前期比 増減率
売上高	4,836	4,930	4,760	4,774	-61 -1.3%
営業利益	354 7.3%	350 7.1%	300 6.3%	310 6.5%	-44 -12.4%
経常利益	341 7.1%	320 6.5%	290 6.1%	297 6.2%	-44 -13.0%
当期純利益	127 2.6%	177 3.6%	195 4.1%	212 4.4%	+84 +66.5%

四半期ごとの業績推移



セグメント業績

2012年3月期 セグメント業績

単位:億円

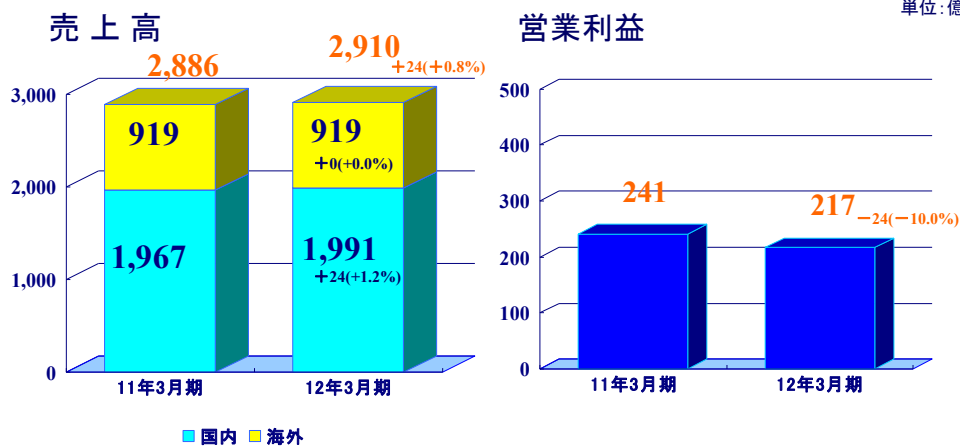
	2011年3月期		利益率	2012年3月期		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
産業ガス	2,886	241	8.4%	2,910	217	7.5%
エレクトロニクス	1,264	84	6.7%	1,152	59	5.2%
エネルギー	376	14	3.7%	388	16	4.3%
その他	308	30	9.9%	322	27	8.5%
調整額		▲15			▲9	
合計	4,836	354	7.3%	4,775	310	6.5%



2012/5/11

産業ガス関連事業

単位:億円



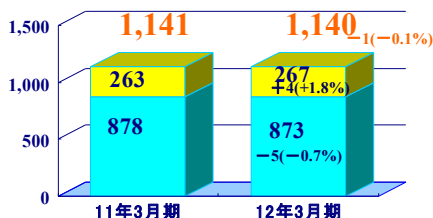
※売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております



2012/5/11

主な産業ガス関連事業(売上高)

セパレートガス



■ 国内 ■ 海外

《海外》

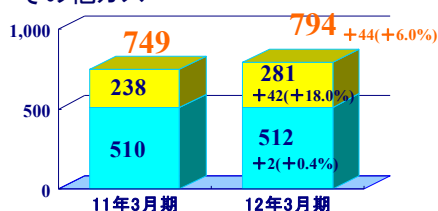
- ◆数量は前期を上回り、円高の影響があったものの売上高も若干増加

《国内》

- ◆上期前半の震災影響、下期の欧州金融不安、円高などにより、数量・売上高ともに減少

その他ガス

単位:億円



■ 国内 ■ 海外

《海外》

- ◆北米でのアセチレンが好調維持
- ◆ヘリウムは高値スポット案件の受注もあり好調

《国内》

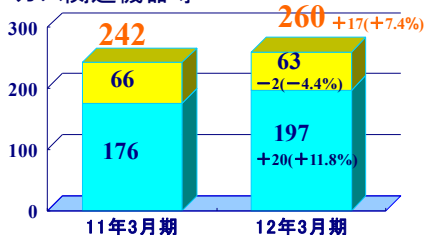
- ◆溶接・飲料用などで炭酸ガス堅調



2012/5/11

主な産業ガス関連事業(売上高)

ガス関連機器等



■ 国内 ■ 海外

《海外》

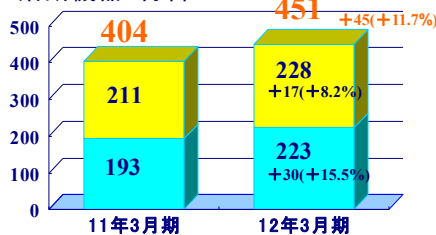
- ◆供給機器を中心に、需要堅調も円高影響もあり前期比マイナス

《国内》

- ◆PSA式ガス発生装置などが好調
- ◆供給機器堅調

溶断機器・材料

単位:億円



■ 国内 ■ 海外

《海外》

- ◆北米で在庫調整がすすみ、下期にハードグッズ売上増加

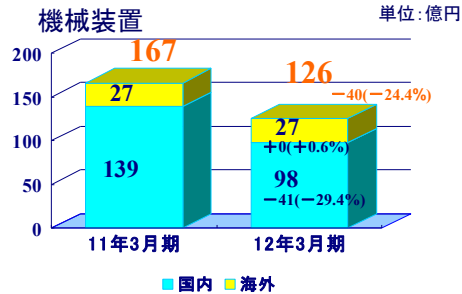
《国内》

- ◆プラズマ切断機など大型機器が好調



2012/5/11

主な産業ガス関連事業(売上高)



《海外》

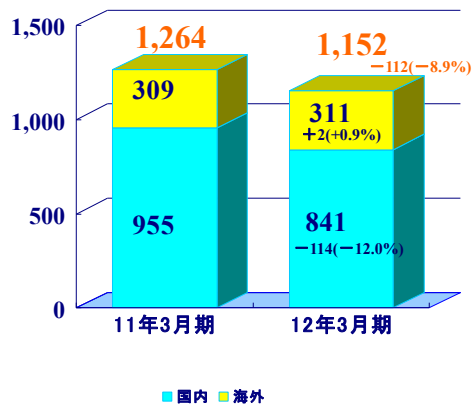
- ◆アジアを中心に堅調に推移
- ◆大手鉄鋼向けに空気分離装置受注

《国内》

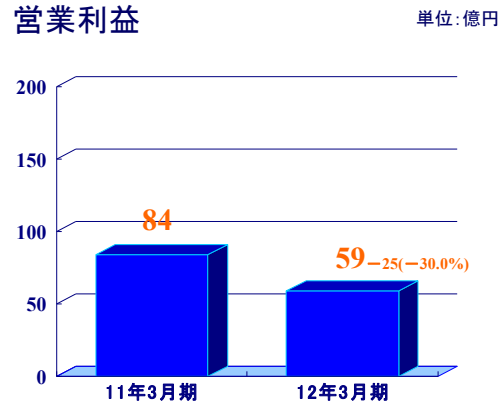
- ◆工事案件が大幅に減少
- ◆大型工事は順調に完工

エレクトロニクス関連事業

売上高

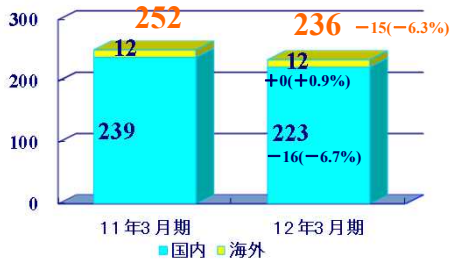


営業利益



主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

セパレートガス



《海外》

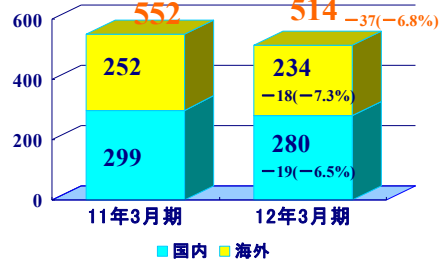
◆北米、アジアで窒素が堅調に推移

《国内》

◆震災及び主要ユーザー減産により、アルゴン、窒素の需要減少

電子材料ガス

単位: 億円



《海外》

◆台湾、中国などでの液晶パネル、太陽電池減産影響

《国内》

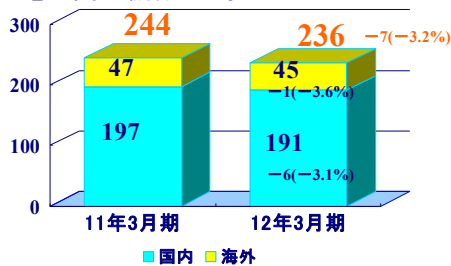
◆震災影響は夏までに回復
◆液晶パネル、半導体減産により需要減退



2012/5/11

主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

電子関連機器・工事



《海外》

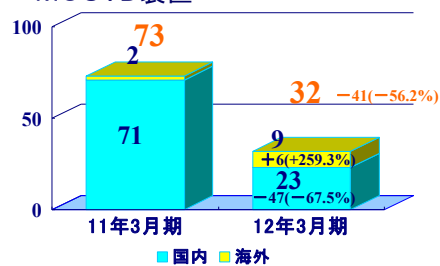
◆北米で上期に機器需要が落ち込んだものの、後半から回復傾向に

《国内》

◆大型機器・工事案件減少
◆中小規模案件で挽回を図り、微減にとどまった

MOCVD装置

単位: 億円



《海外》

◆台湾・韓国向け受注好調
◆韓国での装置製造を開始

《国内》

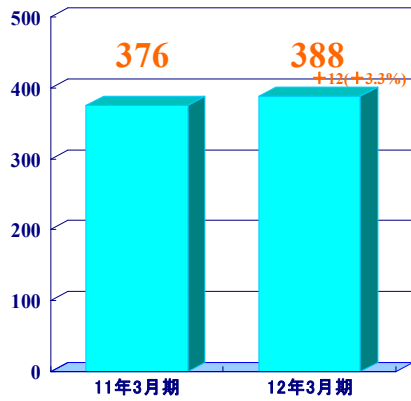
◆各社の国内LED内製計画見直し傾向
◆設備投資案件が大幅に減少



2012/5/11

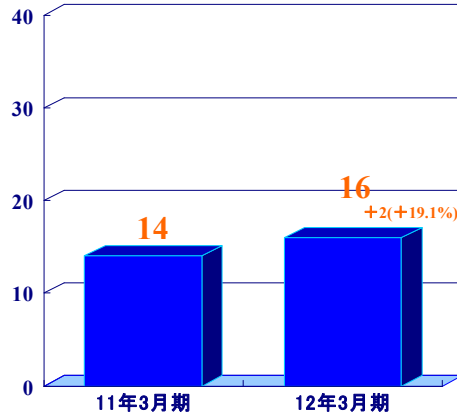
エネルギー関連事業

売上高



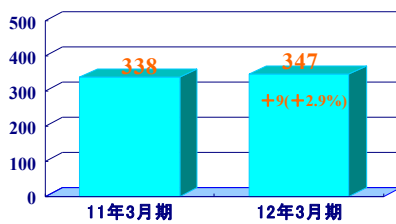
営業利益

単位: 億円



主なエネルギー関連事業(売上高)

LPガス

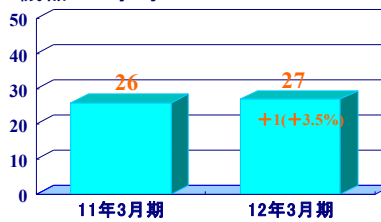


《国内》

- ◆ 上期震災影あるも数量はほぼ前期並み
- ◆ 輸入価格上昇に伴う販売価格 値上げ

機器・工事等

単位: 億円

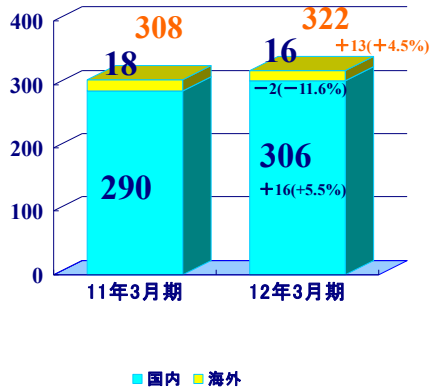


《国内》

- ◆ 節電・省エネ対策としての機器 引き合い増加

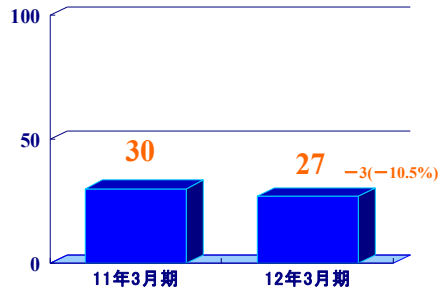
その他事業

売上高



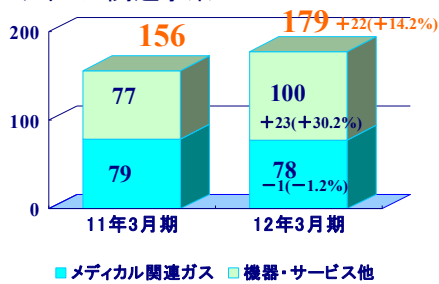
営業利益

単位: 億円



主なその他事業(売上高)

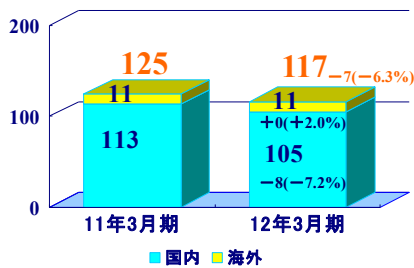
メディカル関連事業



《国内》

- ◆医療用酸素は一部震災の影響受け微減
- ◆機器は新規連結効果あり
- ◆病院向け設備機器ブランド「OXYMED」の発売を開始

サーモス事業



《海外》

- ◆アジア地域での販売堅調

《国内》

- ◆携帯マグ売上減少

トピックス

トピックス

- **アジア地域ハイライト**
 1. シンガポール
 2. ベトナム
 3. フィリピン
 4. 韓国
- **ヘリウムビジネスの概況**
- **米国での取組**

1.シンガポール

Leeden社の連結化

概要

- ・2012年3月、株式公開買付け終了
- ・2012年4月から連結業績に反映

業績(2011年12月期)

売上高 : 12,022百万円
 営業利益 : 812百万円

シナジー効果

- ・当社未進出地域でのガスビジネスへの展開
 (インドネシア、ミャンマー、カンボジアなど)

- ・当社既進出地域では、同社のコネクションと商品ラインナップを最大限に活用



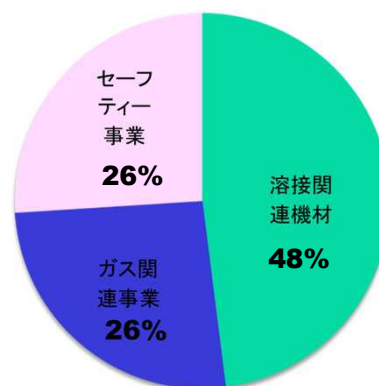
2012/5/11

1.シンガポール

Leeden社 主要取扱い商品



Leeden社2011年売上構成



2012/5/11

1.シンガポール

National Oxygen Pte.Ltd. 特殊ガス事業拡大

2011年に、台湾において混合ガス製造会社を設立、更に事業を拡大するため、2012年稼働を目指しサウジアラビアにも混合ガス製造会社を建設中

>概要

	台湾	サウジアラビア
所在地	台湾 高雄市	アルジュバイル市(ペルシャ湾岸)
NOX出資比率	51%	49%
製造品目	各種混合ガス(ハイグレード品)、標準ガス	
主要顧客	石油化学、半導体	石油化学コンプレックス
稼働開始	2011年末	2012年末



2012/5/11

2.ベトナム

Vietnam Japan Gas Co., Ltd.

>マーケット概況

【北部】

- ・電子機器や自動車関連の新規進出が活発化
- ・台湾系高炉建設計画にオンサイト供給検討

【中部】

- ・中長期的に、鉄鋼・造船など重工業投資が続く

【南部】

- ・鉄鋼、石油化学向けオンサイト大型案件多数あり
- ・電子機器を中心とした液製品新規需要も活発



>VJG設備投資計画

※現時点での液化ガス生産能力シェア約40%でベトナムNo.1

南部 バリア・プンタウ 新工場

	地域	時期	能力(Nm ³ /h)
北部	フンイエン省(ハノイ近郊)	2011年4月稼働	LON 2,500 + ガス窒素
		2014年完成予定	LON 2,900 + ガス窒素
南部	ドンナイ省ビエンホア	1998年12月稼働	LON 1,000
		2005年7月稼働	LON 2,500
	バリア・プンタウ省(ホーチミン近郊)	2012年2月完成	LON 5,000 + ガス酸素・窒素



2012/5/11

3.フィリピン

Ingasco, Inc.

➤マーケット概況

- ・外資(日本含む)投資が急伸
- ・主要産業である半導体、電子部品も順調に回復
- ・電炉、造船、病院向けの液製品需要堅調
- ・溶断ガスを中心にシリンダーガス需要堅調

➤Ingasco 設備投資計画

※現時点での液化ガス生産能力シェア
約60%でフィリピンNo.1

場所	時期	能力(Nm3/h)
ルソン島	1997年10月稼働	LON 4,000
	2008年4月稼働	LON 10,000
	2014年1月完成予定	LON 10,000 + ガス窒素
ミンダナオ島	2012年10月完成予定	LON 2,000



ルソン島パタンガス第2工場
既設プラント



2012/5/11

4.韓国

SKC Airgas, Inc.

➤概要

韓国SKグループ企業であるSKCと当社との合併会社

設立

2007年6月

所在地

蔚山(ウルサン)広域市内

出資比率

SKC 80%、当社 20%

製造品目

ガス酸素・窒素

⇒ 主にSKC及びSKグループ企業向け
液化ガス(酸素、窒素、アルゴン)

⇒ 現地ディーラーへ販売

既設プラント

MGP44000 × 2基

【最大生産量】

酸素・窒素ガス

51,000Nm3/h

液化酸素・窒素

8,000Nm3/h

液化アルゴン

720Nm3/h



蔚山



2012/5/11

4.韓国

SKC Airgas, Inc.

▶プラント増設

主要ユーザーの酸素使用量増加に対応

増設プラント **MGP150000 × 1基**

【最大生産量】

ガス酸素・窒素 **60,000Nm³/h**

液化酸素 **500Nm³/h**

液化アルゴン **1,060Nm³/h**



稼働開始予定 **2013年6月**

▶将来展開

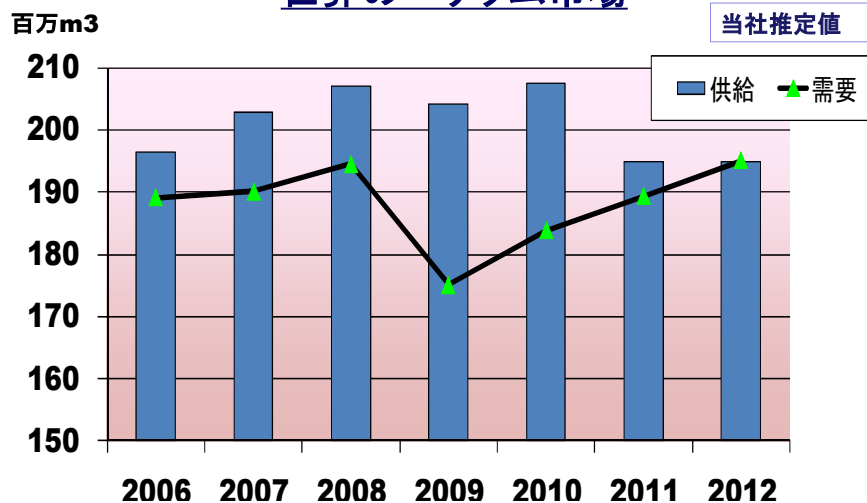
SKグループとの連携でガスビジネス拡大を狙う(SKハイニックスなど)



2012/5/11

ヘリウムビジネス概況

世界のヘリウム市場



2012/5/11

ヘリウムビジネス概況

米国ヘリウム新工場

概要

- ・所在地：ワイオミング州
- ・APCIとの合併
- ・生産能力：600万m³/年
- ・当社引取枠：300万m³/年
- ・稼働開始：2012年末



2014年には生産量倍増



世界シェア9%



ヘリウムビジネス概況

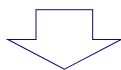
ヘリウム充填設備の新設

中国

- ・所在地：遼寧省 撫順
- ・稼働開始：2012年末
- ※上海に続く2基目

インド

- ・所在地：デリー近郊(インド北部)
- ・稼働開始：2012年3月
- ※プネ(中西部)に続く2基目



世界(5ヶ国)で18ヶ所に充填設備所有に



ヘリウムビジネス概況

ヘリウムコンテナの増設

➤ヘリウムコンテナとは

- ・極低温である液体ヘリウムを輸送・貯蔵するために不可欠
- ・当社は1991年から高性能ヘリウムコンテナを製造

↑
極低温・真空技術を駆使

➤当社増設計画概要

- ・現在 90基所有
- ・2013年までに40基増設→130基体制に

➤増設目的

- ・国内外での安定供給体制完備
- ・2014年 米国工場の生産量倍増に対応

当社製ヘリウムコンテナ



2012/5/11



米国での取組

シェールガス&オイル向け産業ガス

➤ビジネスの動向

米国内で、急速に開発が進むシェールガス・オイル探掘で、産業ガス需要が急増

➤産業ガス需要

- ・破砕、探掘 → 窒素、酸素
- ・圧送 → 窒素
- ・精製 → 窒素、水素

★100以上のパイラインプロジェクトあり

★10以上の大型精製プラントあり

➤MTGビジネスの状況

- ・セールsteamの結成
- ・既存ユーザー30件 以上
- ・ノースダコタで空気分離装置建設中



2012/5/11

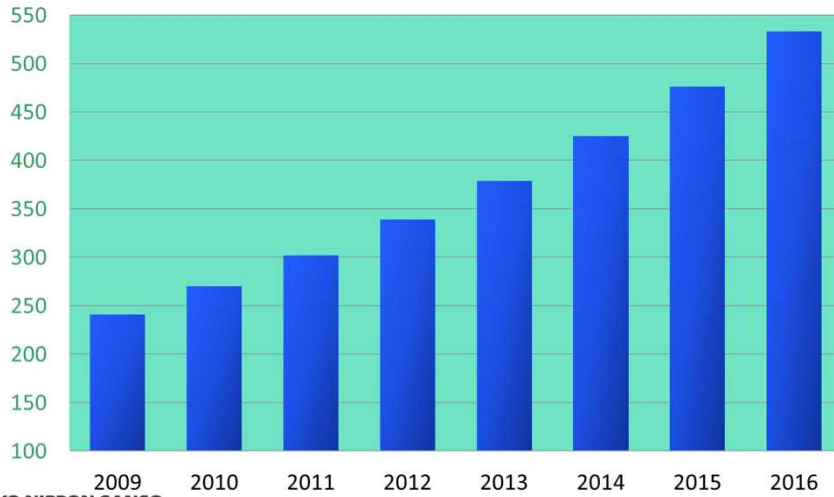


米国での取組

➤シェールガス&オイル向け産業ガス売上予測

産業ガス市場

百万ドル



2012/5/11

2013年3月期 通期連結業績予想



2012/5/11

2013年3月期 通期連結業績予想

単位: 億円

	12年3月期 (実績)	13年3月期 (予想)	増 減	増減率
売 上 高	4,774	4,860	85	1.8%
営業利益	310 6.5%	328 6.7%	17	5.6%
経常利益	297 6.2%	302 6.2%	5	1.6%
当期純利益	212 4.4%	174 3.6%	-38	-17.9%



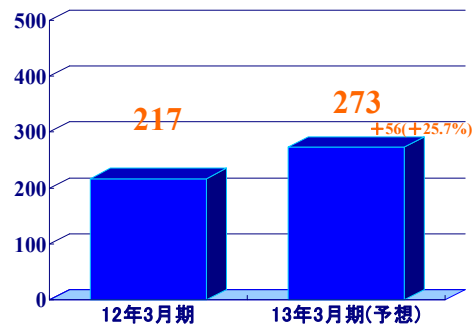
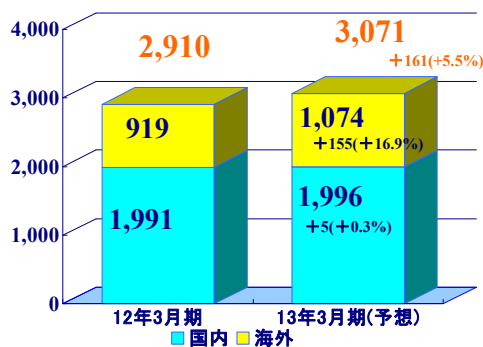
2012/5/11

2013年3月期 産業ガス関連事業セグメント予想

売上高

営業利益

単位: 億円

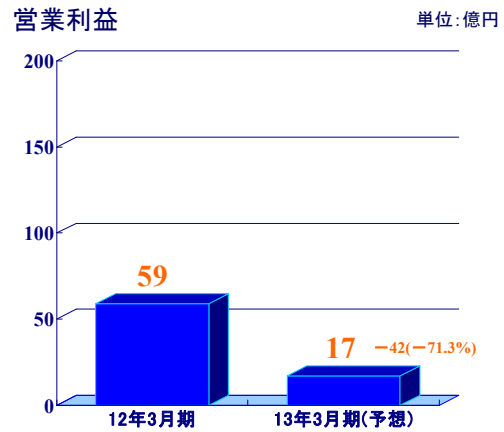
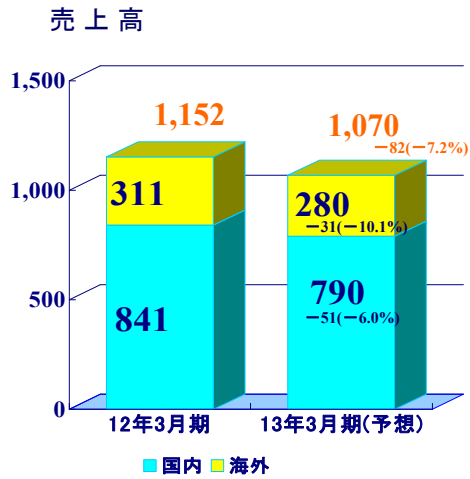


※売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております

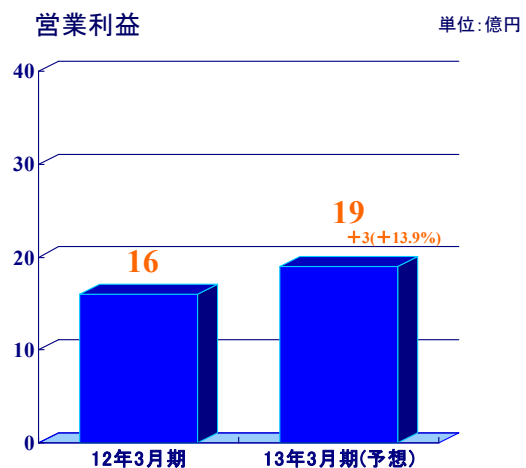
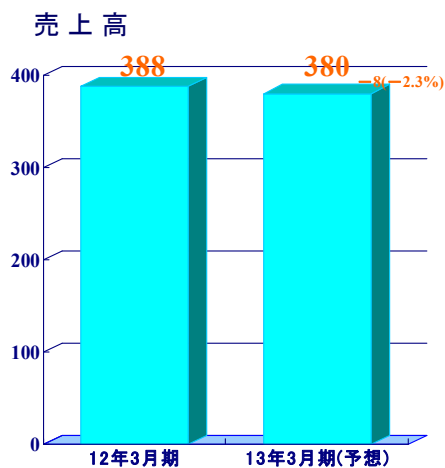


2012/5/11

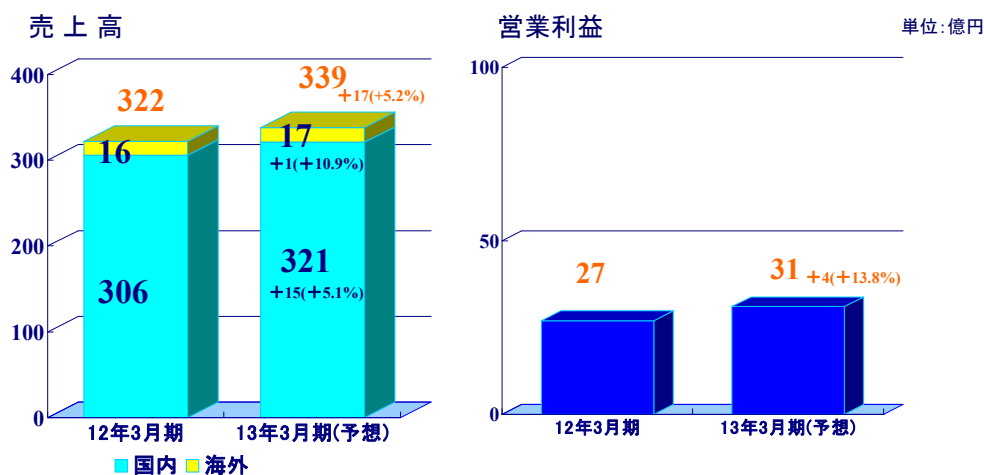
2013年3月期 エレクトロニクス関連事業セグメント予想



2013年3月期 エネルギー関連事業セグメント予想



2013年3月期 その他事業セグメント予想



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性(経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません。)を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。